

北海道大学低温科学研究所 研究集会  
「海氷海洋モデリングの共通基盤構築に向けて」

日時：2014年7月24日(木) 13:00-17:30, 25日(金) 9:30-17:00

会場：北海道大学 低温科学研究所 講堂

コンビーナー：羽角博康（東大大気海洋研），広瀬直毅（九大応力研），石川洋一（JAMSTEC），  
辻野博之（気象研），小守信正（JAMSTEC），小室芳樹（JAMSTEC），松村義正（北大低温研）

開催趣旨：

海氷海洋系の数値モデリングに対するニーズは、それが本来扱う海洋物理に関する研究にとどまらず、物質循環や生態系など海洋の様々な科学的研究、そしてそれらを含む環境という面からの研究・応用の意味でますます高まっている。一方、こうしたニーズに応えるべくモデルが高度化され続けてきた結果、小規模なグループのみで海氷海洋系モデルを開発・維持することは困難になりつつある。本研究集会では、日本国内で海氷海洋系モデルの開発にあたっている研究者を集め、それぞれの研究・開発の現状と課題を報告しながら、今後の海氷海洋系モデル開発の方向性や共同開発体制の構築に関する議論を行う。

プログラム

7月24日（木）

13:00-13:05 低温科学研究所所長挨拶

13:05-13:15 趣旨説明等

13:15-15:15 セッション1

小室芳樹（JAMSTEC） 「海洋モデル 最新海外事情」

若松剛（JAMSTEC） 「海外における共用海洋モデルへのデータ同化システム組み込み事例とその開発体制」

浦川昇吾（気象研） 「COCO と MRI.COM の比較」

15:15-15:30 休憩

15:30-17:30 セッション2

藤井陽介（気象研） 「アジョイント開発者にやさしいモデルコーディング」

坂本圭（気象研） 「分散開発に向けた MRI.COM パッケージの開発」

中野英之（気象研） 「共有化できそうな、あると便利な OGCM の解析 tool」

**7月25日(金)**

9:30-11:30 セッション3

黒木聖夫 (JAMSTEC) 「COCO を用いたネストモデルのネスティング手法について」

相木秀則 (JAMSTEC) 「大気海洋波浪結合領域モデルの開発」

橋岡豪人 (JAMSTEC) 「生態系モデリングにおける物理環境の重要性」

11:30-13:00 休憩

13:00-15:00 セッション4

松村義正 (北大低温研) 「海洋非静力学モデル開発の現状と今後の展望」

羽角博康 (東大大気海洋研) 「死蔵モデルの紹介 ～新しいモデルは誰が作る?～」

15:00-15:15 休憩

15:15-17:00 総合討論